

た。リンパ球の核は軽度腫大し、分裂像も頻繁に見出された(図5)。一部の浸潤リンパ球の核にEB virusのゲノム(EBER1)が陽性であった(図6)。なお、本病変は治療により4週後には治癒した。

なお、いわゆる皮膚の偽リンパ腫と称される病変の一部は、蚊その他の昆虫による刺蝿症に対するアレルギー反応の可能性がある(図7)。皮膚偽リンパ腫 lymphocytoma benigna cutis (pseudolymphoma) は、鼻を中心とする顔面に形成される赤色小丘疹で、リンパ濾胞形成を伴った限局性リンパ球浸潤を認める。MALT (mucosa-associated lymphoid tissue) リンパ腫の可能性とともに、蚊に刺された既往を確認する必要がある。

#### 4. ヒメガムシの鼓膜刺入

ガムシ(牙虫)科の甲虫(water scavenger beetle)には世

界で1,700種が知られている。池・沼・水田の水中に生息して昼間活動するが、夜間、灯火に集まる習性もある。ヒメガムシ *Sternolophus rufipes* は10~12 mm大、黒色で、本州、四国、九州、沖縄に広く分布する。図8に、夕刻に偶発的に外耳道へ飛来して若い女性に鼓膜穿孔をきたしたヒメガムシを示す。鉗子で piece-by-piece に摘出された成虫体である。

#### 参考文献

- 1) 山口富雄(編): 節足動物性皮膚症状. 臨床寄生虫カラーアトラス, 南江堂, 東京, 1980, 208-255
- 2) 高岡宏行: 吸血性昆虫およびダニによる疾患. 新熱帯感染症学, 南山堂, 東京, 1996, 329-352
- 3) 羽金重喜, 藤岡 彰, 浅井俊弥, 矢後文子: 蚊刺過敏症. 皮膚病診療 1992, 14: 623-626

## コラム

### イカにご用心

最近、面白い症例を経験した。近くのスーパーマーケットで買った「イカ刺し」を食べたところ、何かが舌に刺さって抜かず、痛くて仕方がないといって来院したのだ。臨床医は舌に刺さったトゲ状の物体を切除し、病理検査に提出した。顕微鏡で標本を見た私は、はたと困った。たぐさんの小型の核をもつ細胞を充満したその物体は、これまでに見たことのない代物だったのだ。当然、当大学の寄生虫学専門の先生方に相談した。彼らは、「寄生虫ではない」と即答してくれたが、では何なのだろう。しばらくして、答えが割れた。それは、メスイカの体内に発射されたオスイカの精鞘(無数の精子を容れた鞘状の器官)だったのだ。

「イカは空をとぶ」と題された科学随筆に目を通した。そのうちの一章「イカのセックスは痛い」の中に、次のような内容が書かれていた。イカの10本の足のうちの2本は生殖のためのもので、交尾は、オスがこの特別な足を使って、精鞘をメスの体内に挿入することによって行われる。精鞘は、先端に針のような突起を、根元には大量のアクチンフィラメントを有しており、メスの体裂に接触すると弾けて

メスの体内壁に突き刺さるのだそうだ。精子は精鞘から徐々に漏れ出て、長期間の受精・産卵に有効に働くという。

つまり、かの患者さんが不幸にして口にしたのは、不発弾を表面に抱えたメスの身(体壁)だったのである。というわけで、新鮮なメスのイカ刺しには、とりあえずご用心を! どうやってオスメスの切り身を見分けるかって? 痛い目にあえばわかります——。この本には、大量の精鞘が口中に刺さってしまった釣り人の話も書かれていた。その人は、釣り上げたイカに、舟の上で内臓もろともむしゃぶりついたのだ。きつと、よほどの通だったに違いない。その新鮮きわまりないイカは、間違いなく成熟したオスだったのです。

イカに刺された経験のある方、そうした運のいい患者さんをご覧になった先生は、ぜひ連絡してください。通常、イカの精鞘は切除しなければならないほど深く刺さるそうですので、できれば、ホルマリン固定標本もいっしょに送ってくだされば幸いです。よろしく。

(医学のあゆみ 1995, 172: 717 より転載)